

平成 29 年の年頭に寄せる会長のメッセージ

目映いばかりの快晴に恵まれた今年のお正月、新しい年を迎えスタートしてから、早や 2 月も終わりに近づき、正に日進月歩の世の中であります。昨年は、本会の諸々の行事に多くの方が参加して頂きまして、誠に有難うございました。今年も更に参加者が多くなることを期待しております。今年最初の行事でありました 1 月の新年会には、多くの会員、福井県東京事務所の方々など、皆様のご参加を頂き、そして又楽しい余興などもありまして、お陰様で大変和やかな、賑やかな新年会でありました。

今年も、昨年より更に一步前進を・・・このテーマは、私共役員が一致協力して会の活性化と、会員の拡大を前進させる・・・を主たる課題として、取り組んできました。会員の拡大に就いては、会員の皆様に協力して頂いた結果、年間少しずつではありますが、新しい入会者もあり、会員が増えておりますが、今年も尚引き続いての課題であります。

今年は、とり年でありますので、皆様と共に力強く羽ばたける年になるように努め、そして又本会にも新しい風を吹き込む為、他県の県人会の方々と一緒に何らかの活動をする事も、同時に進めたく思っております。

今年も引き続き、ご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成 29 年の新年会を開催しました。

恒例となっております静岡福井県人会の新年会を、去る 1 月 22 日(日)に静岡グランドホテル中島屋で開催しました。ご来賓として福井県東京事務所副所長の法山様、主任の野路様をお招きし、会員 16 名でしたが、この頃の流行の風邪で欠席者が数名あり、少し寂しい新年会となりました。

まず、中村幹事の開会の辞、次に武長会長の挨拶、続いてご来賓の法山様からご祝辞を頂き、その中には福井県の現況について、平成 35 年



の春には北陸新幹線が敦賀まで開通すること、中部縦貫自動車道が白鳥一大野一福井が整備されると高速道が静岡まで繋がる・・・との報告と、平成 30 年に開催される福井国体に応援を、又ふるさと納税にご協力を、更に野路主任からは、福井県が技術の粋を込めて開発した史上最高ブランドのお米に素敵な名前を付けて下さい・・・とのお願いなどがありました。

その後、懇親会に入り、古川副会長の乾杯の音頭で開宴となり、暫く歓談した頃、余興が始まり大道芸人「羽衣乙女」親子による演芸で、先ず南京たますだれ、舞踊、バナナの叩き売り・・・など面白おかしく芸を披露して楽しませてくれました。そのあとも歓談になり、故里での昔の頃の話などで盛り上がり、皆さん久しぶりに会ったせいにか実に賑やかに、和やかな雰囲気過ぎて時間が惜しまれる感じのなか、最後はみんなで「ふるさと」を合唱し、山下幹事の閉会の辞のあと、記念撮影して、お開きとなりました。

今回、事情で欠席された方も、4月の総会には是非ご出席をお願いしたいですし、女性の方のご出席も宜しくお願い致します。

——— 担当幹事 内田 文江 記 ———

静岡県内に存在する各県人会の役員代表が一同に集まって！！

去る11月20日（日）に、静岡グランドホテル中島屋に於いて、静岡各県人会協議会・懇親会が開かれました。

この会は、静岡県内で現在組織化されている県人会のなかで、我々福井県、石川県、富山県、新潟県の四県の県人会が先ずまとまって協議会を発足させることとして、それらの役員が参加した初めての会合でありました。富山県の役員は残念ながら、その日は都合で参加されませんでした。

この協議会が正式に発足するのは、来年4月1日からであります。今回の会合は、その為の準備として各役員相互の交流、親睦を図る為・・・と位置づけされたものであります。

その日は、オブザーバーとして滋賀県、福岡県の代表の方も参加されまして、総勢20名で開会となりました。

小林事務局次長（福井）による開会の辞で始まり、高津事務局長（新潟）から本協議会発足の為の準備の会合を重ねながら今日までの経過報告と、新役員の内定者の紹介がありました。

初代の代表に内定の武長会長（福井）から、本会のこれからの取り組み、進め方などに一致協力しよう・・・との強い決意の挨拶のあと、菊野幹事（石川）の乾杯で懇親会の開宴となりました。しばらく歓談のあと、松谷相談役（新潟）、平居氏（滋賀）、石井氏（福岡）がそれぞれ挨拶され、そのあとには各県人会ごとに参加者の紹介がありました。和やかな歓談が続くうちに終宴の時間がせまり、全員で「ふるさと」を合唱したあと、閉会の挨拶では谷田相談役（福井）、鈴木氏（新潟）から激励の言葉を、そして最後には高橋幹事（新潟）による三本締めが場内一杯に響きわたり、ラストはにこやかな笑顔で記念写真をバッチリ撮り閉会となりました。



東部三島で、恒例の忘年会を楽しく、賑やかに・・・

朝夕の寒さが身に沁みる 12 月に入った頃、東部地区では恒例の忘年会を開き、久しぶりの元気な笑顔での再会を喜び楽しむ為に、今年も去る 12 月 4 日（日）に三島駅前の食処「日本海庄や」で開きました。

その日は、東部の会員 10 名と遠路静岡市から 4 名の方が出席して下さいました。何人かの方が体調が良くない・・・とか、又夜間の外出は控えたい・・・との連絡があり欠席を残念がっている方もありました。

先ず、いつもお元気な鈴木先生の乾杯の発声で開宴となりました。1 年ぶりに再会する方が多く、開宴早々から実に賑やかな、和やかな話し声が、あちらこちらで・・・楽しい雰囲気となりました。更に山路喜春さんのご紹介で今回新しく入会される島田寿朗さん（伊豆の国市）が、若くて元気ハツラツとした若者でして、彼の加入で尚一層明るい話題に花が咲いたような雰囲気に・・・。

初対面の方もありましたので、其々が自己紹介することとなり、なかには出身地がすぐ近く・・・と言う方もいたりして様々な話題が出て話が尽きることがありません。3 時間近く

がアツという間でそろそろ終宴となり、「最後にも鈴木先生から、来年も又こうして元気な笑顔で会いましょう・・・でお開きとなりました。来年の忘年会はもう少し早めの 11 月頃に、そして又暖かい頃に昼間の行事を何か企画したいものです。



——— 担当幹事 北川 達 記 ———

若狭路に春を告げる神事・・・お水送り・お水取り

若狭神宮寺の歴史を学ぶ

故里福井県の小浜、神宮寺と鶴の瀬で毎年 3 月 2 日に行われる、お水送りの神事、その 10 日後の 12 日に行われる、奈良、東大寺二月堂のお水取りの神事が、それぞれとり行われる。この頃から春の訪れ・・・と、言われている。

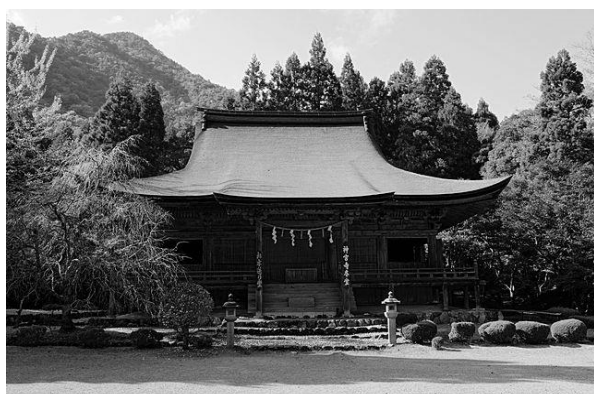
この神事は、今から約 1200 年前、東大寺、二月堂を建立した時に催された修二会に遅れ

た、若狭の遠敷明神がそのお詫びに、若狭から水をおくったのが、由来とされています。
 3月2日その夜、神宮寺でくみ上げられた御香水が竹筒に入れられて約2km離れた鵜の瀬まで運ばれる。古式ゆかしい装束を身につけた人々が手に手にたいまつを掲げて行列で鵜の瀬へと向かう。そこでは神宮寺の別当が送水文を読み上げたあと、竹筒の中の御香水が明るく照らされた遠敷川の川面へと注がれる。この御香水は10日間かかって、東大寺二月堂の若狭井に届くと言伝えられています。幻想的で、厳粛な神事が今日まで、脈々と続いている伝統行事である。



この神事については、ご存知の人が多いと思いますが、さて若狭神宮寺の歴史については如何でしょうか

若狭神宮寺の創建は、714年で今から1300年もの昔に建立された。現在全国各地にある「神宮寺」のなかでは最も古く、これに次ぐのは、敦賀市の気比神宮にかつてあった「気比神宮寺」である。全国で古さが1、2番の神宮寺が、ここ嶺南地方に存在する。そして又、若狭神宮寺とゆかりのある、若狭彦神社、若狭姫神社の創建も、714年と言われており、すぐ近くで見られます。各地の神宮寺は、神に仕える目的で建てられた寺院で、地域を代表する神がいて、神聖な山が存在する訳であります。若狭は、古代信仰を学ぶのに、またとない地域と言えます。



神宮寺



彦神社



姫神社

◆◆◆◆◆ 4月に開催する定期総会のご案内 ◆◆◆◆◆

1. 日時 平成29年4月23日(日) 12時より。
2. 場所 静岡グランドホテル中島屋
3. 会費 男性5,000円 女性4,000円 ご夫婦8,000円
4. 議案 ①平成28年度事業報告及び会計報告
 ②役員改選について
 ③平成29年度事業計画及び予算案の審議

(同封のハガキでもご案内しております)

平成29年の年次総会でありますので、全会員の方々が万障お繰り合わせの上是非出席下さいますよう宜しくお願いいたします。